

彦根市総合教育会議 会議録要旨

令和7年度第3回彦根市総合教育会議	
日 時	令和8年2月5日(木) 午後2時00分～午後2時40分
場 所	彦根市役所5階 第1委員会室
出 席	彦根市長 田島 一成 副市長 青木 洋 教育長 西嶋 良年 教育長職務代理者 田附 孝子 委 員 小松 照明 委 員 本田 啓子 委 員 永濱 隆
欠 席	なし
議事次第 1 議題 (1) 教育大綱の策定について	

○企画課長

大変お待たせいたしました。本日は、お忙しい中、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。ただいまから、令和7年度第3回彦根市総合教育会議を開催いたします。本日の進行を務めさせていただきます企画課長の種村です。どうぞよろしくお願いいたします。

総合教育会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により設置しているもので、本日の総合教育会議は公開により開催いたします。

本日は議事次第に従いまして意見交換をしていただく予定としておりますが、遅くとも16時頃を目途に終了させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

つづきまして、本日お配りしています資料につきまして、確認をお願いします。まず次第が1枚、資料1として「彦根市教育大綱(案)見え消し」が1部、資料2として「彦根市教育大綱(案)溶け込み」が1部、資料3として「表紙(案)」が1枚、資料4として「教育大綱(案)のポイント」が1枚となります。不足等ございましたら事務局までお願いします。

それでは、議題に従いまして進めさせていただきます。まず、(1)教育大綱の策定について、事務局から説明をお願いします。

○事務局

企画課の粕渕と申します。着座にて説明させていただきます。

それでは議題 1 の教育大綱の策定について説明させていただきます。資料 1 の「彦根市教育大綱（案）見え消し」をご覧ください。11月に開催しました第2回の総合教育会議でのご意見等を踏まえて、追加、修正した部分を赤字で見え消しにてお示ししております。資料 2 については追加、修正した部分を溶け込ませた資料となっておりますので、資料 1 の参考としてご覧ください。また、資料 4 において次期教育大綱を策定するにあたってのポイントをまとめたものになりますので、こちらも参考にいただければと思います。

それでは資料 1 に沿って前回からの変更箇所を中心にご説明させていただきます。

「1 趣旨」については前回から変更ありません。

「2 彦根市教育行政の体系」について、基本目標の図を修正しました。前は基本目標の(1)～(3)を包含する(4)という図で表していましたが、補足説明が無いと伝わりにくい点が多く、また、文章が読みにくいのではといったご意見もありましたので、基本目標(4)を台形にして(1)～(3)が乗っている土台として伝わるように修正しました。

続いて「3 計画期間」については新たに追加しました。国の教育振興基本計画や本市の関連する各種計画等の見直しなど、を取り巻く環境や社会情勢の変化を踏まえ、必要に応じて柔軟に見直しを検討することを記載しています。なお、その際の期間は概ね 5 年を目安としています。

続いて「4 基本方針」については前回から変更ありません。

1～4 の説明は以上となります。

○企画課長

資料 1 の前半部分となる 1～4 の説明がありましたが、ご意見等ございましたらお願いします。

(意見なし)

特に無いようですので、後半部分の説明についてお願いいたします。

○事務局

それでは引き続き後半部分の説明をさせていただきます。

「5 基本目標」についてですが、全体に共通する事項としては、基本目標のそれぞれに対する主要な取組を新たに記載しております。前は説明文のみだったのですが、少し具体化した取組を示した方がイメージしやすくなるのではないかと考えております。より詳細な各事業については、教育行政方針に含めることとしておりますので、毎年そちらで確認いただくようお願いいたします。

まず基本目標（１）について、説明文は前回から修正をしておりません。

基本目標（２）について、前回の会議の中で「人権」や「いじめ」といった文言を文中に入れるべきではないかといったご意見をいただきましたので、説明文の後半部分、人権を尊重し、いじめや差別のない共生社会を実現するための、といった表現に修正しました。

基本目標（３）について、説明文は前回から修正をしておりません。

基本目標（４）について、冒頭に基本目標（１）から（３）の実現を支えるため、という文言を追加しております。また、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進、を、それぞれ導入といった部分では全校に配置することも達成していることから、「学校・教師が担う業務の適正化の推進」というより広い意味での文言に修正しました。

最後に用語集ですが、前回の会議でもご意見のあった「学校段階」や「学校種」などの教育の分野では一般的な用語であっても、一般市民には馴染みのない言葉を中心に、記載しております。各基本目標における主要な取組を追加したことによって、前回にお示しした内容から用語の数も増えております。

次に資料３をご覧ください。彦根らしい写真を入れた表紙となりまして、この裏面に市長コメントを加えて完成となります。

説明は以上となります。

○企画課長

資料１の後半部分から表紙に関する部分の説明がありましたが、これらについてご意見等ございましたらお願いします。

○小松委員

４つの基本目標に対して今回はそれぞれ主要な取組を追加していただいています。前は基本目標の概念や考え方のみでしたが、主要な取組が入ることによって分かりやすくなったと思います。ただ、前回は議論になりましたがこれはあくまで大綱で、市長がおっしゃるような不変的なものであるとするならば、主要な取組は少し細かな部分になってくるのかなとも思います。主要な取組の内容をしてみると４年、５年で陳腐化するような項目ではないと思いますし、各目標に対して継続的な課題になってくると感じましたので、私としてはこの形を採用いただきたいです。

また、主要な取組があることによって、毎年作成している教育行政方針との繋ぎの役割も果たせ、目指すべき方向性の参考にもなると考えています。

○本田委員

資料３の表紙について、前回と同じ彦根城の写真にはなるのですが、今回は鳥瞰図のよ

うで高い位置から立体感もあって良いと思います。それから背景に彦根の街並みや琵琶湖が入っている点や、新緑の季節ということでこれからの希望を連想させるような点など前回とは違った良さがあります。

もう1点細かなことですが、基本目標（1）の説明欄で自己肯定感、創造性、共感性等の非認知能力とあって、一方で用語集には非認知能力の説明として、やりぬく力、自己肯定感、意欲、協調性、思いやり、コミュニケーションなどの能力のように少し詳しく書かれています。何か違いはあるのでしょうか。

○田附委員

本田委員と同じような内容なので続けて発言させてください。私も非認知能力の用語集にあるような思いやり、コミュニケーションなどの表現を加えてはどうかと思います。何か意図があって自己肯定感、創造性、共感性等といった表現にされているのであれば別です。

表紙については素晴らしい写真だと思いますが、彦根と言えば「ひこにゃん」ですので、もう少し大きく載せるなり、彦根城の中に入れるなりしてはどうかと思いました。

○事務局

ありがとうございます。本田委員と田附委員からご質問いただきました非認知能力の表現についてですが、当初は基本目標の説明欄においても用語集にあるような複数の例示を挙げた形で作成しておりました。市長、副市長、教育委員会と協議を進めていく中でも、どこまで例示を挙げるべきかという議論がありまして、文章として間延びしないように基本目標の説明文においては「等」でまとめさせていただき、用語集でより詳細な説明を入れることとしました。

○教育長

非認知能力は数値では表せない様々な力があり、大きく「自己に関する力」と「他者や社会とかかわる力」というグループに分けられるので、その中からそれぞれ代表的な3つを挙げています。これだけではピンとこないのであれば、他の力を入れ込むことも考えられますが、私は子どもたちが力を伸ばしていく中で一番大切なのは自己肯定感だと考えているので、この言葉は残していただきたいと思っています。

○田附委員

私も自己肯定感はとても大事だと思いますし、今の子どもたちの不登校の事例などを見ると、やはりコミュニケーションが上手く取れないケースが多くなっていますので、言葉としても入れていただけるとありがたいです。

○永濱委員

重複する部分もあるのですが、小松委員がおっしゃったように基本目標の中に主要な取組が入ることで、教育関係者のみではなく全市民がこの大綱を見てもイメージしやすいのではないかと思いますので必須でお願いします。

また、先ほど教育長がおっしゃったように教育委員会としてのこだわりの部分は文言として入れておくべきだと思います。

それともう 1 点、用語集に掲載している用語は文中にアスタリスクを付けるべきだと思います。誘導なしで用語集を見てくださいでは少し不親切だと感じました。

○事務局

ありがとうございます。用語集にスムーズに誘導できるように文中にアスタリスクを追加させていただきます。

○副市長

基本目標（2）の冒頭から 5 行にわたる文章となっているので、3 行目の個別最適な学びの機会を確保する。で区切ってはどうでしょうか。

○事務局

ありがとうございます。文章が長くなっているなので、途中で区切るように修正させていただきます。

○企画課長

他にございませんでしょうか。

ご意見等はないようですので、委員の皆様から頂戴した意見を踏まえて、次期彦根市教育大綱の公表に向けて事務手続きを進めてまいります。よろしいでしょうか。

（異議なし）

○企画課長

ありがとうございました。

次に議題 2「その他」について何かあれば事務局からお願いします。

○事務局

特段の内容はありませんが、次期教育大綱の公表に向けて事務手続きを進めさせていただき、完成しましたら委員の皆様にもお知らせさせていただきますので、よろしく申し上げます。以上です。

○企画課長

それでは、今年度の最後会議にもなりますので、市長から本日の会議に関しましてコメントがありましたら、お願いします。

○市長

新たな教育大綱の策定に向けて皆様のご意見を頂戴した中で、ようやく彦根らしい教育を進める方向性が決まったものといったところで、ご議論に参加いただいた委員の皆様には心から感謝申し上げます。私たちが学んでいた頃はもちろんのこと、私の子どもがお世話になっていた頃と比べても時代の流れや教育のあり方、教育に求められるものがずいぶん様変わりしてきております。10年ひと昔と言われましたが、今や5年ひと昔と言っても過言ではないくらい、劇的な変化が訪れているように感じます。この教育大綱は5年を目安に見直すこととしていますが、色褪せるスピードも速くなってしまっているのではないかと危惧しております。人口減少、少子高齢化、また、外国人の方が多く日本にお越しになり、多文化共生や多様性といった様々なテーマが私たちの生活を取り巻く状況にあります。そんな状況であっても変えてはいけないものと変えていくべきもの、そして守り抜くものと拒んでいくものの取捨選択が教育の分野にあっても求められていくのではないかと思います。過去の常識や思い込みなどの当たり前だと思って使っていた物差しが通用しない時代をこれから次世代に引き継いでいかなければなりません。このような大きな責任を背負っていることを痛感しながら、この教育大綱に基づいた様々な行政施策にしっかりとその思いや狙い、目標そして取組がしっかりと反映させていけるように適宜この大綱に照らし合わせながら施策展開を図っていきたいです。言うは易く行うは難しとは言いますが、今後、教育委員の皆様から厳しいご意見やご指導をいただきながら進めてまいりたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。本日はありがとうございました。

○企画課長

ありがとうございました。

それではこれもちまして令和7年度第3回総合教育会議を終了いたします。ありがとうございました。

(終了)